

～官兵衛ゆかりの三大聖地～



黒田家御廟所

官兵衛の曾祖父まで
6代にわたりここに暮らした



賤ヶ岳古戦場

官兵衛が軍師として参陣した
天下分け目の戦いが繰り広げられた



長浜城

官兵衛の1人息子
松寿丸(長政)が1年暮らした

も、おもてなしの心だけは負けたくない」と意気込みます。

「老若男女を問わず、『私もガイドをやってみよう』と思っている人はぜひ仲間になってほしい」。

訪れる人の心を動かすガイド

「春が近づくとつれ、テレビを観て長浜を訪れる人が増えるはず」。官兵衛の魅力を紹介するだけでなく、地域自慢や美味しい空気、方言、昔話などを、来る人に紹介したいと考えています。

「ちょっとした気配りにも意識して、もう一度このまちに来たいと思ってもらえるような、かゆい所に手が届くガイドができるようになりたい」と話す富田さんの言葉からは、博覧会への情熱が伝わってきます。



おもてなしの心でガイドをする
村上宣雄さん(写真上)と
富田敏子さん(写真右)



博覧会がもたらすもの

長浜には全国に誇れる豊かな自然や歴史、文化等が数多く残り、地域独自の創意工夫を活かした取組みが、脈々と受け継がれています。それぞれの地域の良さをうまく市内外に発信し、人・モノ・情報が行き交うことで、長浜全体の発展につながります。

そして、自分の暮らすまちに愛着をもって住み続ける人、やっぱり故郷だと戻り暮らす人、長浜に魅力を感じて移り住む人など、形は様々でもこうした「人」が増えることで、まちづくりを推進する市民力が強く大きなものとなります。

新たなまちの創造に向けて歩みだす、その一歩が黒田官兵衛博覧会なのです。



▲オープニングイベントで勝どきをあげる
実行委員会の皆さん

を介して、市内各地の情報が行き交うようになれば、「市民も、合併前の旧町エリアを超えて、市全域のことをもっと知ろうと関心が高まるだろうし、高まってほしい」。

地域の宝を次の世代へ引継ぐ使命

「長浜は歴史が豊かなまち。子どもたちがふるさとの魅力を知ること、我がまち・長浜を誇りに思い自慢



奥びわ湖ボランティアガイド協会
語り部ガイド 富田敏子さん

あの感動を再び

「市全体の住民パワーで盛り上げ、心温まるおもてなしの真心で全力投入したい」。そう話す富田さんは、地元・木之本を愛し、20年にわたりボランティアガイドとして熱心に活動しています。

富田さんは、ボランティアガイド協会の皆さんとともに浅井三姉妹博覧会を盛り上げ、成功のうちに幕を閉じたことを振り返り、「まだ数年し

する気持ち自然と芽生える。そして、心の豊かさや自信をもつことにもつながる」。この博覧会が、次代を担う子どもたちのそんなきっかけになることを望んでいます。

「進学や就職等で一旦地元を離れることになっても、いずれは戻ってきてほしい。地域に残された貴重な資源を守り、それを活用した地域振興のあり方を次の世代に承継することが今の自分の使命だと思う」。

か経っていないのに、あの感動を再び味わえるのが嬉しい」と明るく話します。

もてなす喜びを分かち合う

富田さんがガイドを始めたきっかけは、「家と職場の往復だけでは人生があまりにも寂しくなる。自分ができることで、何か社会に貢献したい」と思ったこと。

「数多くの観音様や戦国ドラマの舞台となった史跡など、貴重な地域資源を勉強して楽しくガイドしたい。そして、たくさんの方のガイドたちと仲良くお客様をお迎えし、みんなで協力して、この博覧会を盛り上げたい」。

「長浜」の官兵衛

長浜は由緒正しき黒田家発祥の地。「姫路や福岡の華やかさはなくと

木之本エリア 大河ドラマ館を中心に黒田家が屋敷を構えた木之本町黒田のほか、官兵衛が秀吉の軍師として参陣した賤ヶ岳古戦場や北国街道木之本宿などが見どころです。

長浜城下町エリア 市南部を中心に展開し、官兵衛の主君・秀吉が初めて城持ち大名として築城した長浜城や周辺に広がる城下町、ゆかりの武将たちにスポットを当てて長浜の魅力を発信します。

問 黒田官兵衛博覧会事務局 (大河ドラマ館内)
☎82-6311 ホームページ: <http://kitabiwako.jp/kanbee/>



各会場の内容や今後の予定は下記のとおりです。
ぜひお楽しみください。(詳細は右記まで)

大河ドラマ館 ＜戦国大河きのもと館＞

木之本町木之本1118 (☎82-6311)

パネルや映像等で大河ドラマに関する情報を紹介。向かいには地元特産品などを販売する「木之本みやげかえる堂」を開設。

3月21日(金・祝)から本ノ本駅・高月駅を起点とする「奥びわ湖おもてなしバス」を運行(主に土日祝)。



城下まち館 ＜曳山博物館特設会場＞

元浜町14-8 (☎65-3300)

秀吉が作った長浜城下町をジオラマやパネルで紹介。

江戸時代の小判などを紹介する特別陳列展を12月28日(日)まで開催。



歴史館 ＜長浜城歴史博物館＞

公園町10-10 (☎63-4611)

黒田官兵衛が賤ヶ岳の戦いに参戦していたことを示す貴重な資料などを常設で展示。

特別企画プレ展示の第1回テーマ展「長浜城主秀吉と家臣たち」を2月23日(日)まで開催。

